

細胞統合生理学講座

講座・部門紹介

生理学は、個体から構成分子まで、様々なレベルで、人体の機能を解明する学問です。それらのレベルの蓄積された知識が有機的につながることで、真に生体機能の理解ができるといえます。疾患の原因を見つめ、治療方法を生み出す上でも、生体機能の理解は必須です。また、臨床医学研究が、どちらかというと臓器に特化した研究を進めていくのに対して、生理学においては、様々な生体機能に共通の原理を見つけていくことも特徴のひとつです。

当講座は、生体における物質輸送の立場から、生体機能および疾患の解明をすすめています。

staff スタッフ紹介



教授 挟間 章博

灘高等学校（兵庫県）卒業
昭和60年 京都大学医学部卒業
平成元年 京都大学大学院修了
教育専門分野
1) 生理学
研究分野
1) イオンチャネル・トランスポータ
2) 上皮膜輸送
3) 細胞生理学

研修医、臨床医入学時の研究分野

1. 上皮細胞の電気生理学
2. 細胞容積調節機能
3. 細胞障害メカニズム

講座・部門の主な研究内容

1. イオンチャネル・トランスポータ
2. 上皮膜輸送
(応用としてドライアイやドライマウスの治療法開発)

3. 細胞防御機構
(応用として、移植医学・再生医学における臓器保存法開発)
4. 循環・脈管生理学
5. 宇宙生理学

講座・部門からのメッセージ

基礎医学研究というと臨床医として活躍する上で縁の無いものだと考える方も多いでしょう。しかし、現在は、基礎医学研究の成果が疾患治療に応用できる時代です。例えば、細胞膜のイオン輸送が、細胞の生死に直結し、特定のイオン輸送をブロックすることで、死に行く細胞を生存に導くことが出来るなど、従来では予想できなかった事実が明らかになっています。当講座では、このような研究を実際の応用にまで進めようとしています。また、研究には年齢は関係ありません。学部生が研究することも歓迎しますし、長年の臨床経験から、「これは不思議だな」と思うことが、新しい発見につながりますので、そのような話題があれば、研究のお手伝いをいたします。